

女性が増えると消防は、もっと優しくなる。

女性消防士を募集

市消防本部では、チャレンジ精神旺盛な意欲のある消防士を募集します。特に、女性消防士を必要としており、男性消防士では行き届かない視点での行政サービスに期待しています。



女性消防士を初採用

消防と聞くと「男の職場」という印象が強いと思いますが、実は、全国で4000人を超える女性消防士が活躍しています。

市消防本部では今年度、9人の採用者のうち初めて2人の女性消防士を採用し、火災等の災害現場で主に消火活動を行う消防隊に配属しました。今後、経験を積むことにより、さまざまな部署で活躍することを期待しています。

全国で活躍中

全国の消防署で女性消防士が活躍

しているさまざまな仕事について紹介します。

【消防隊】

火災の最前線で消火活動を行う隊員、消防車の運転や機械装置の操作を行う機関員、消防活動全体の指揮をする隊長をサポートする指揮隊員などがいます。

【救急隊】

急病、事故、災害等の救急現場に急行し、傷病者に適切な応急処置を行いながら医療機関まで搬送する仕事です。採用後、救急救命士の資格を取得し、活躍している職員がいます。

【通信指令】

火災・救助・救急等、住民からの「119番通報」を受ける仕事です。

消防士になるには？

消防士採用の流れ

採用試験⇨採用試験合格⇨消防学校入校⇨消防署配属

消防学校で全道の消防士と共に学びます

消防士として採用されると江別市にある全寮制の北海道消防学校に約半年間入校し、消防士として必要な基礎知識や技術を習得した後、個々の適性に応じて業務に従事することになります。

消防学校の初任教育で学ぶこと

- 基礎教育～消防関係法令、サービスと勤務など
- 実務教育～火災の原因調査、建物の立ち入り検査、救急業務など
- 実科訓練～消防活動訓練、機器取り扱い訓練など



日々訓練に励んでいます！

私たちと一緒に頑張りましょう！

消防学校での訓練の様子

通報を手掛かりに災害や事案の発生現場を特定し、必要な部隊を選択、出動を指示します。

勤務形態と職場環境

主に火災や災害対応業務を行う交代制勤務は、午前8時50分までの24時間勤務で、うち8時間は仮眠等となり、1日休んで翌日再び勤務となります。女性専用の設備（仮眠室、トイレ、洗面所、浴室）は、女性消防士が安心して勤務できるように順次整備を進めています。

また、出産や子育てについては、

市役所の事務職員と同様に、産前産後休暇、育児休業など、さまざまな支援制度の仕組みが活用でき、安心して育児に取り組むことができます。

女性消防士について詳しく知りたい方は消防庁「女性消防吏員の活躍推進のためのポータルサイト」、市ホームページ「女性消防吏員を募集中」をご覧ください。

また、職場見学も随時受け付けています。小樽市の採用試験等については本誌6ページをご覧ください。

◆お問い合わせは、消防本部総務課

☎②9130、FAX②9182へどうぞ。